

卒業研究		演習	准教授 古川 慎太郎	
科目カテゴリー	救急救命士コースの必修科目		科目ナンバリング	13130401

1. テーマ

救急医療，救急・救助，災害対応，その他救急救命士にかかわりのある幅広いテーマを取り扱う。

2. ゼミのねらい・概要

卒業研究を推進し，卒業論文に取りまとめる。加えて，救急救命士国家試験に向けた対策及び就職試験に向けた対策（主に，小論文対策・面接対策）を進める。

3. ゼミ計画

1. ガイダンス（授業の進め方）	16. 国家試験模擬試験⑨
2. 就職・卒論に関する個別指導①（学生7名）	17. 国家試験模擬試験⑩
3. 就職・卒論に関する個別指導②（学生7名）	18. 国家試験模擬試験⑪
4. 就職・卒論に関する個別指導③（学生7名）	19. 国家試験模擬試験⑫
5. 就職・卒論に関する個別指導④（学生8名）	20. 卒論に関する個別指導③
6. 国家試験模擬試験①	21. 卒論に関する個別指導④
7. 国家試験模擬試験②	22. 国家試験模擬試験⑬
8. 国家試験模擬試験③	23. 国家試験模擬試験⑭
9. 国家試験模擬試験④	24. 国家試験模擬試験⑮
10. 卒論に関する個別指導①	25. 国家試験模擬試験⑯
11. 卒論に関する個別指導②	26. 就職・卒論に関する個別指導⑤（学生7名）
12. 国家試験模擬試験⑤	27. 就職・卒論に関する個別指導⑥（学生7名）
13. 国家試験模擬試験⑥	28. 就職・卒論に関する個別指導⑦（学生7名）
14. 国家試験模擬試験⑦	29. 就職・卒論に関する個別指導⑧（学生8名）
15. 国家試験模擬試験⑧	30. 総括

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

卒業研究の推進・卒論執筆に，週2時間程度を要する。また，国家試験に向けた学習に，相当の時間を要する。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

口頭や資料提示等により，個別または授業中の講義を通じて行う。

6. 授業における学修の到達目標

卒業研究・卒業論文執筆への取り組みを通じて，論理的思考，文章作成能力等を養う。また，就職試験（主に，小論文・面接試験）及び国家試験に向けて万全の準備を行う。

7. 成績評価の方法・基準

国家試験模擬試験の結果及び，出席状況，卒業研究の内容の評価を行う。（100%）

8. テキスト・参考文献

改訂第11版救急救命士標準テキスト
適宜指定する資料

9. 受講上の留意事項

3分の1を超える欠席をした場合や，卒業論文を提出しない場合は不合格とする。

国家試験模擬試験については，12月までに実施する全ての国家試験模擬試験における総合の平均点が，AD問題で45%未満，または，BC問題で65%未満の場合には不合格とする。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当有無

該当する。本授業は，公的機関等での実務経験を活かして指導する。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。